

基本支援

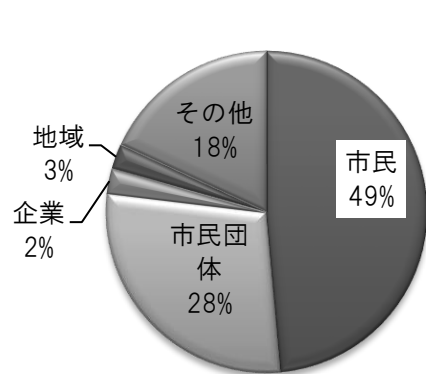
■2019年度の主な利用数値

- 登録団体：311団体（新規登録8団体、解散8団体）
- 入館者数：21,006人（月平均1,751人）〔昨年度対比：89.1%〕
※新型コロナウイルス拡散防止のため3/5～3/27まで休館
- 相談数：538件〔昨年度対比：104.6%〕
- 問い合わせ数：164件〔昨年度対比：74.5%〕
- 会議室利用：257件〔昨年度対比：85.6%〕
- 持ち込みイベント：86日〔昨年度対比：186.9%〕
（9団体が34のイベントを実施）
- 機材貸出し：177件〔昨年度対比：100%〕
- ホームページアクセス数：21,341件〔昨年度対比：139.1%〕
- 登録団体記事数：1,561件〔昨年度対比：114.6%〕

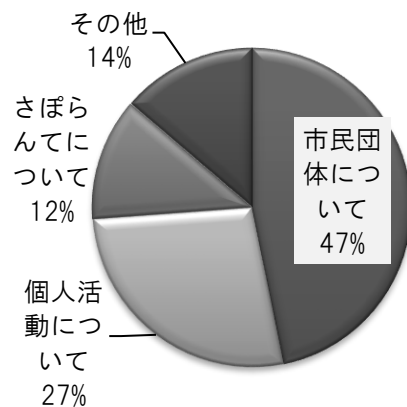
■相談

市民からの相談が233件49%と変わらず半数を占める。市民からの相談の10件に1件がボランティアを希望するもので、昨年度の2倍に。市報掲載（R2年2月1日号）後の反響が特に大きかった。移転に伴いさぼらんてに関する問合せや初来館の市民が増えた。法人からの相談件数は昨年度より倍増。事務処理に関すること、他団体やボランティアとのマッチングの要望が多かった。任意団体からの相談は、立ち上げや助成金、情報発信等で継続・伴走支援を必要とするものが目立った。

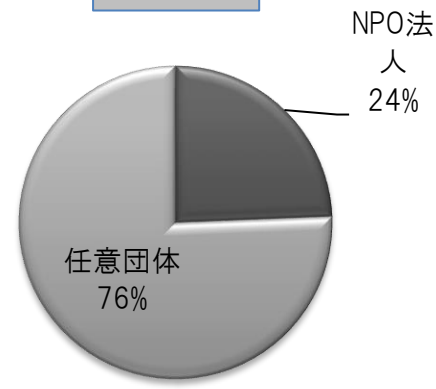
対象別相談等の件数



市民からの相談内訳



団体分類



以上、昨年度の山口市市民活動支援センターさぼらんての簡単な事業報告です。事業報告詳細については、さぼらんてホームページより閲覧可能です。また、各事業の内容はホームページの講座レポートに掲載していますのでこちらもご覧ください。

平成から令和に改元された昨年度、さぼらんては拠点を移し新たなスタートを切りました。山口市の意向もあり、新拠点のレイアウトは、若い人たちが使いやすいように大判の黒板やポップなテーブル・椅子が設置してあります。学生主導でInstagramでのボランティア募集の発信も始まり、大学生の巻き込みを準備していたのですが、思いもよらない新型コロナウイルス禍によって3月は閉館を余儀なくされ、講座も中止、新年度になっても4月13日から5月17日までシャッターを閉めた状態でした(;▽;)。

閉館時も、スタッフは、十分な空間を確保して通常勤務をしていました。電話、メール、オンライン会議（Zoom）での相談などに対応する他、今後も新型コロナウイルスなどにより、人との接触が従来よりも少なくなるという可能性を考え、動画配信やネット会議に対応できるスキルや環境を準備していきました。

さぼらんてに寄せられる市民からの相談のうち10件に1件は「ボランティア活動をしてみたい！」というものです。そこで、さぼらんてでは、ボランティアをしたい人に向けてのアプローチとして「ボランティア募集カード」を作成し、HPやインスタで発信していく仕組みづくりを進めています。登録団体へはスタッフがヒアリングをしていくこともあると思いますが、その時はご協力をお願いします。

これからも、講座など対面実施へは制約があるかもしれませんが、その時はオンラインツールを活用して開催する予定です。今後も、新型コロナに負けないで活動できる環境を応援していきますので、今年度もさぼらんてをご活用ください。
くわたなべ>



団体持ち込みイベント



2019年度のさぼらんて事業報告

さぼらんてリニューアルオープン！

旧拠点が立ち退きのため、9月26日（木）より、新拠点（旧拠点より20m南側）での市民活動支援業務となりました。新しくなったさぼらんて、全館フラットスペースとなっています。広くなった交流スペースには大きなテーブルを置きました。その横には、壁一面の黒板！授乳室もあり、子育てママにも活用しやすいスペースになっています。授乳室の向かいには和室があり、子連れでの活動もできます。奥には、円卓が二つ並ぶ会議室、もちろん会議テーブルも15セット（20～28名）用意してあります。みなさんぜひ一度遊びにきてくださいね。



会議室



和室



助成金コーナー



情報コーナー



授乳室



多目的トイレ



ワークスペース

リニューアルオープンイベント 集まれ！NEWさぼらんて

参加者
1,905名
ドネーション額
200,600円

リニューアルを記念して12月5日に「集まれ！NEWさぼらんて」を開催。オープニングでは、ドネーション（寄付）パーティーにエントリーした6団体の映像や学生発表（学生の巻き込みの展望）を実施。ドネーション額は10日余りの募集期間で200,600円が集まり、得票数に応じて団体に配分。団体ブースには11団体（2地域団体含む）の参加があり、団体PRやバザーで賑わい、15メートルの巻き寿司「巻き込み寿司」にはたくさんの参加者があり、当日の入館者は1,900人余りとなった。

寄付に親しんでもらうために200円という気軽なドネーションチケットは効果的であった。今後も志を込めた寄付の流れにアプローチをかけていきたい。

【配分内訳】

団体名	票数	金額
①認定NPO法人 支えてね트워크	109票	33,800
②ブルーライトやまぐち	121票	36,200
③NPO法人 あっと	123票	36,600
④こども明日花プロジェクト	84票	28,800
⑤認定NPO法人 こどもステーション山口	114票	34,800
⑥林業女子会@山口	92票	30,400
①～⑥計	643票	
団体指定なし	225票	
合計	868票	200,600



ドネーションエントリーの6団体



巻き込み寿司にはたくさんの参加者が

若者の社会貢献の機会提供・ボランティアコーディネート

学生インターンシップ・ボランティア数

45名
のべ
1,071時間

2019年度もたくさんの学生がインターンシップやボランティアで登録団体との関わりを持った。その他にも学生ならではの視点を生かした地域での企画実施、団体映像づくり、ドネーションパーティーの中での学生発表するなど、学生が大活躍の年となった。

- ①ちょうちん祭りでの東日本支援バザー 9名
- ②インターンシップ推進協議会からの受入れ 2名
- ③県立大学国際文化学科からの受入れ 13名
- ④大内コドモジカンプロジェクト運営 7名
- ⑤「集まれ！NEWさぼらんて」運営 7名
- ⑥市民活動団体紹介VTR制作 3名
- ⑦さぼカフェ（学生×ボランティア・円卓会議）4名



ちょうちん祭りでの東日本支援

前向きな学生のインターンシップやボランティアは受入れ団体にも好評で、今後も活躍の場をコーディネートする必要性を感じた。学生の中には、地域とつながりたい、何かできることがあればしてみたいという貢献意欲はあるが、その活動の場や情報がないということが浮き上がった。今後は学生たちのボランティア活動の場を広げていくために団体の協力も得ながら、ボランティア募集カードを作成し、拠点に掲示するほか、ホームページ、Instagramで発信していきたい。



ドネーションパーティーを支えてくれた学生

市民活動団体への活動・運営支援

■ 活動充実講座

- ①NPO入門 4団体8名参加
- ②バーチャルボードミーティング（仮想理事会）2団体5名参加
- ③映像講座及び映像制作サポート 5団体22名参加
- ④LINE活用！情報発信戦略講座 9団体12名参加

■ さぼカフェ

ボランティア×若者～善意とニーズを確実につなぐために～上記をテーマに学生4名、市民活動団体4団体、関係機関3か所が集まり、2回の円卓会議を実施。この円卓会議の内容をもとに学生向けボランティア募集のInstagramを立ち上げ、団体にもボランティア募集を推進。

■ 支え人。～企業×NPOのつながりプロジェクト～

今年度もNPO法人3団体に対し、8社から169,200円の寄付
これまで5年間の寄付金合計1,386,226円
他に、テーマに対する連携企業や自動販売機設置企業4社。

■ その他

- ①NPO伴走支援
事業課題の整理、助成金、ブログ立ち上げ支援などを32回実施。
- ②助成金情報の発信
大切な財源である助成金情報を分野別、締切り月別、ビギナー向け、賃金対応に分類し、拠点へ助成金カレンダーとして掲示、希望する団体への毎月のメール配信、2か月に1回の紙媒体での送付を行った。年間募集スケジュールも一覧にした。
- ③地域支援
大内へのコドモジカンプロジェクトのサポート、小鯖未来カタリバワークのサポート、地域コーディネーター養成講座「草莽塾」のサポートなどを行った。



LINE活用講座



円卓会議

市民活動への参加のきっかけづくり

平成31年度山口市まちづくりアンケートによると、市民活動やボランティア活動（NPO活動）を行っている市民の割合は全体の11.4%と少ないものの、「以前やっていた（10.1%）」「機会があればやってみよう（34.9%）」との回答は合わせると45.0%で、市民活動予備軍とも言える潜在市民は半数近くいることが推測される。身近な社会課題とともに、市民活動や市民主体の取り組みを市民目線で発信し、この層の新しい価値観との出会いや気づきを刺激し、まちづくりへの参加・参画のきっかけを創出するきっかけを提供した。

■ ええやん新聞(主なターゲット子育て世代)

- 20号テーマ：すべての大人と子どもが集える食堂
- 21号テーマ：寄付でつなぐみんなの未来
- 小・中学校全戸、地域回覧等30,000部発行

■ 活動インフォメーション

市民活動情報の中から一般市民が馴染みやすい情報を選定し、紙媒体として発行。関係各所、商店街に設置

■ かわら版の発行

円卓会議やドネーションパーティーなどの事業の内容をわかりやすくまとめて発行

■ ホームページ、SNS等

講座等のレポートを毎日掲載。登録団体の活動も1500件更新された。Instagramを立ち上げ、新たな人材の巻き込みとして、学生をターゲットにして学生による発信で運営。

■ 市民活動出張展示等

市役所ロビーに写真やキャッチコピーで団体の活動が一目でわかる「市民活動紹介ポスター」などを展示。また新拠点では交流スペースが広がったのでチラシを判りやすく分類し、気軽に情報が集められるレイアウトにした。

■ 市民からの相談

233件の相談が寄せられ、そのうちの1/10件はボランティアしたいという相談。



今後も、「一歩踏み出すときにはさぼらんて」と思ってもらえるように気軽な雰囲気、共に考える姿勢で市民・市民活動団体に寄り添っていききたい。また、気軽な交流の場「さぼlunch会」も実施していく予定。